

ひまわり2組	たくさん買ってね ～にっこりにこにこスーパーひまわり～	ひまわり④
目標	お店やさんになって、お客さんとの買い物のやりとりをすることができる。 (コミュニケーション能力)	

使用したICT機器類・教具等	タブレット端末、大型テレビ、miniHDMIケーブル、ホワイトボード
----------------	------------------------------------

思考ツール・プログラミング	フローチャート、PMI
---------------	-------------

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・フローチャートを用いることで、手順を可視化したり、接客にふさわしい言動の順序を試行錯誤したりするなかで、論理的思考力を高める。
- ・PMIを用いることで、よかったところや改善するところなど、自分の考えを整理する。

◆授業の実際

1 スーパーひまわりを開く準備が整っているか確認する。

- 単元の導入で作った、イメージマップを見て、スーパーひまわりを開くために必要なことは何か考えながら準備を始めた。
- 値札を貼るときには、台に貼るのがよいかかごに貼るのがいいか、二人で相談をして、かごに貼ることに決めた。かごに貼った状態を遠くから眺めてみて、お客さんが見やすいかどうかを考えたことができた。

2 お店やさんになって、お客さんに買ってもらう練習をする。

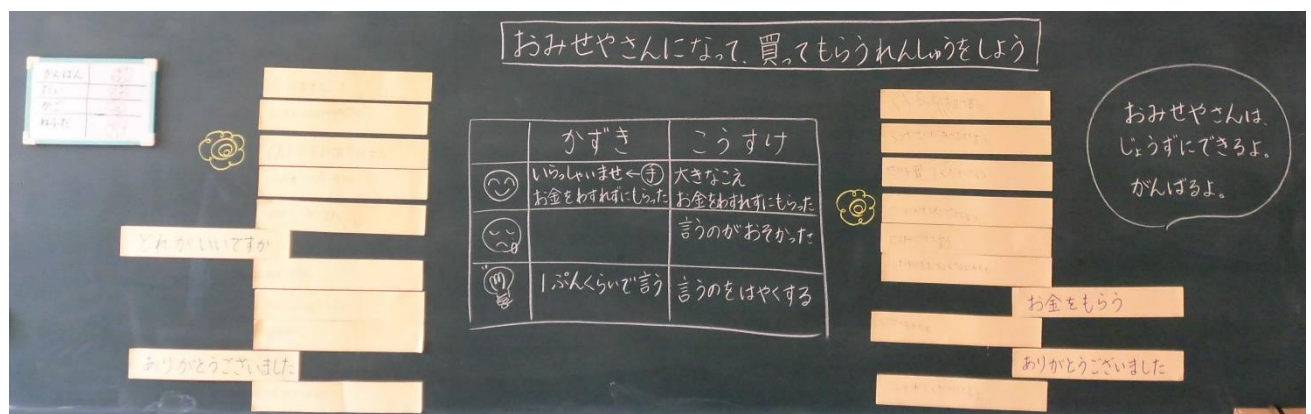
- 前時に書いた、お客さんに言う一つ一つの言葉の短冊を手順に沿って並び替えていった。「いらっしやいませ」の後に、「おすすめは〇〇です」と言ったほうがよいと考えるB児、「品物をわたす」と「代金をもらう」をどちらにしようかと悩むA児、並べたものをじっくり見て、「やっぱり、順番をかえたほうがいい」と並べ直すところもあった。それぞれが、接客するにあたり、よいと思う手順を示したフローチャートを完成させた。
- 教師がお客さん役になり、自分が考えたフローチャートに沿って接客の練習をした。その様子をもう一人が動画撮影した。手順を可視化したことで、次に何をすればよいかがよくわかり、接客もスムーズにできた。
- 動画撮影した接客の様子を振り返った。よかったところや直したほうがよいところを整理した。めあてにしていた笑顔や大きな声はできていることがわかった。また、フローチャートにはなかった「ありがとうございました」を言っていることに二人とも気がついたので、つけ加えることにした。



[フローチャートで手順を可視化]



[PMIでよかったところ、直したいところを整理]



◆実践を通して

- ・フローチャートにして、接客の手順を可視化したことで、どの順序にしたらお客さんに気持ちよく買ってもらえるかを試行錯誤することができた。
- ・接客の様子を動画撮影したことで、客観的に見ることができた。また、言葉が足りないことにも気づき、フローチャートにつけ加えて完成することができた。